

(参考) 技能五輪国際大会について

■ 技能五輪国際大会

青年技能者（原則 22 歳以下）を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催されている大会。製造・建設分野をはじめとする幅広い職種を対象とする、唯一の世界レベルの大会であり、日本選手団は、1962（昭和 37）年から参加。過去日本においては、1970 年の東京、1985 年の大阪、2007 年の静岡と計 3 回の国際大会を開催している。

■ 近年の開催実績

- ・開催国：2017 年アラブ首長国連邦、2015 年ブラジル、2013 年ドイツ、2011 年イギリス、2009 年カナダ、2007 年日本（静岡）
- ・参加者：59 か国・地域から選手 1,250 人（2017 年大会実績）
- ・来場者：約 26 万人（2015 年大会実績）

■ ワールドスキルズインターナショナル（略称：WSI）

国際大会を運営する非政府組織であり、本部はオランダのアムステルダムにある。欧州やアジア地域をはじめとする 79 か国・地域が加盟している（2018 年 3 月現在）。日本は、中央職業能力開発協会が加盟。

■ 今後のスケジュール（例年のスケジュールに基づく想定）

- ・2018 年 10 月：WSI 総会（オランダ・アムステルダム）において、2023 年の国際大会開催国の募集開始。
- ・2019 年 1 月頃：立候補に向けた審査書類を WSI 事務局に提出。
- ・2019 年 3 月頃：WSI 事務局検証訪問。
- ・2019 年 6 月頃：立候補ファイルの提出。
- ・2019 年 8 月末：WSI 総会（ロシア・カザン）において 2023 年の国際大会の開催地が決定。